

希望の年になりますように

あけましておめでとうございます。人類にとって試練の2020年が終わり、新しい年が始まりました。本年もよろしくお願い申し上げます。

まさかこんな年になるとは… 昨年を振り返ったときの率直な思いです。新型コロナウイルスは、世界中をパンデミックに陥れ、主要都市の経済や社会活動を停止させました。岐阜県内でも臨時休校、公共施設の閉鎖、多くの店が一時休業を余儀なくされ、祭りやイベントも中止や延期に追い込まれました。

また、ウイルスは、健康だけでなく社会の絆もむしばみました。感染者や医療従事者に対する差別や偏見、“自粛警察”や“他県ナンバー狩り”など歪んだ正義の横行にたくさんの方が傷つき、胸を痛めました。



笠松町長 古田 聖人

しかし、私たちは苦難の末にコロナとの付き合い方を学びました。マスクの着用や消毒の徹底はもちろんのこと、集まりは3密を避ける、オンラインでの授業や会議、外食の代わりにテイクアウトなど、新たな生活様式に向けて知恵を絞ってきました。それとともに寛容や思いやりの精神を大切にしようという声も高まってきました。

笠松町でもコロナ対策の臨時交付金を基に公共施設や学校、保育所での感染対策強化、小中学校のデジタル化促進を目的に全児童・生徒へのタブレットを貸与したのをはじめ、家計支援のために「生活応援クーポン」の発行や水道基本料金の半年分免除など、様々な施策を打ち出してきました。取り組みが円滑に実行できたのは、町民の皆様のご理解とご協力のおかげです。あらためて笠松町の“地域力”の強さを実感しました。

もっとも、コロナはまだ終息したわけではありません。ワクチンや特効薬が全国民に普及するにはまだ時間が掛かるでしょう。その間にも新たな感染拡大の波がやってくるかもしれません。それでも、これまでに得た経験と知恵を生かせば、どんな困難でも乗り切れるはずです。人類は必ずコロナに打ち克てると信じています。

今夏は延期になった東京五輪が開幕予定です。バドミントン女子ダブルスでは、町内の体育施設で練習を重ねてきたフクヒロペア（福島由紀選手&廣田彩花選手）に金メダル獲得の期待が寄せられています。きっと2021年は、笠松町にとって熱く希望に満ちた1年となるはずです。

今年も町民の皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

コロナニモマケズ、 新しい時代に

あけましておめでとうございます。

新春を迎えるにあたり、町議会を代表してごあいさつを申し上げます。

去年は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、住民生活や社会経済活動などに大きな打撃を与えるとともに、世界的大流行を引き起こし、未だに終息の兆しが見えない恐ろしい事態となっております。

政府からは、特別定額給付金の支給や各自治体が行う新型コロナウイルス感染症対策事業に対して、多額の交付金が支給されましたが、これだけでは元の経済や住民生活を取り戻すことは難しく、今後も、更なる政府支援が必要と思われます。

こうしたことから、1日も早いワクチンや特效薬の開発により、新型コロナウイルス感染症の脅威を克服し、今までの日常生活に戻れることを待ち望んでおりますが、一方で、私たちはポストコロナの時代の到来に向け、新しい生活様式にも対応していかなければなりません。

さて、平成23年4月から10年間、笠松町の政策の基となった第5次総合計画が本年3月で終了し、4月からはその先の10年間を見据えた第6次総合計画に基づき、まちづくりを推進していくこととなります。新型コロナウイルス感染症の影響で、この先数年は財政的に大変厳しくなることが予想されますが、町民の皆様の生活に支障が生じることのないよう万全を期すとともに、魅力的な政策の実現に向けて鋭意取り組んで参ります。

中でも、広江前町長が打ち出した「リバーサイドタウンかさまつ計画」の構想が、国土交通省のご協力により、さらに調査検討を進めることとなりましたので、木曽川を軸として競馬場やその周辺を開発し、新たな交流の場を設けるとともに、新規イベントも開拓していきたいと考えております。

いずれにしましても、議会といたしましては古田町長と手を携え、町民の皆様にご理解ご支援いただける政策を実現していきたいと考えております。

本年も議会活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新型コロナウイルスに負けないより良き時代となりますことを祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。



笠松町議会議長 伏屋 隆男

